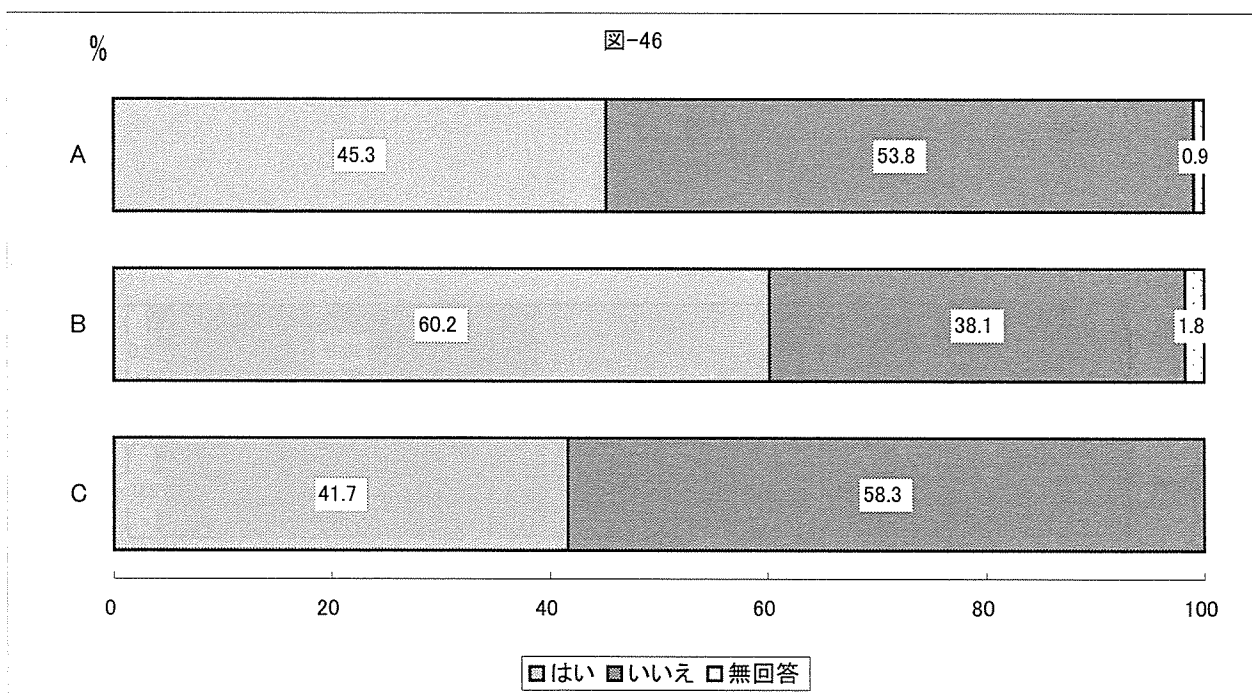


46. 化学療法の専門知識を持つ看護師が専属で配置されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	96	114	2	212
	%	(45.3)	(53.8)	(0.9)	(100)
B	N	68	43	2	113
	%	(60.2)	(38.1)	(1.8)	(100)
C	N	5	7		12
	%	(41.7)	(58.3)		(100)



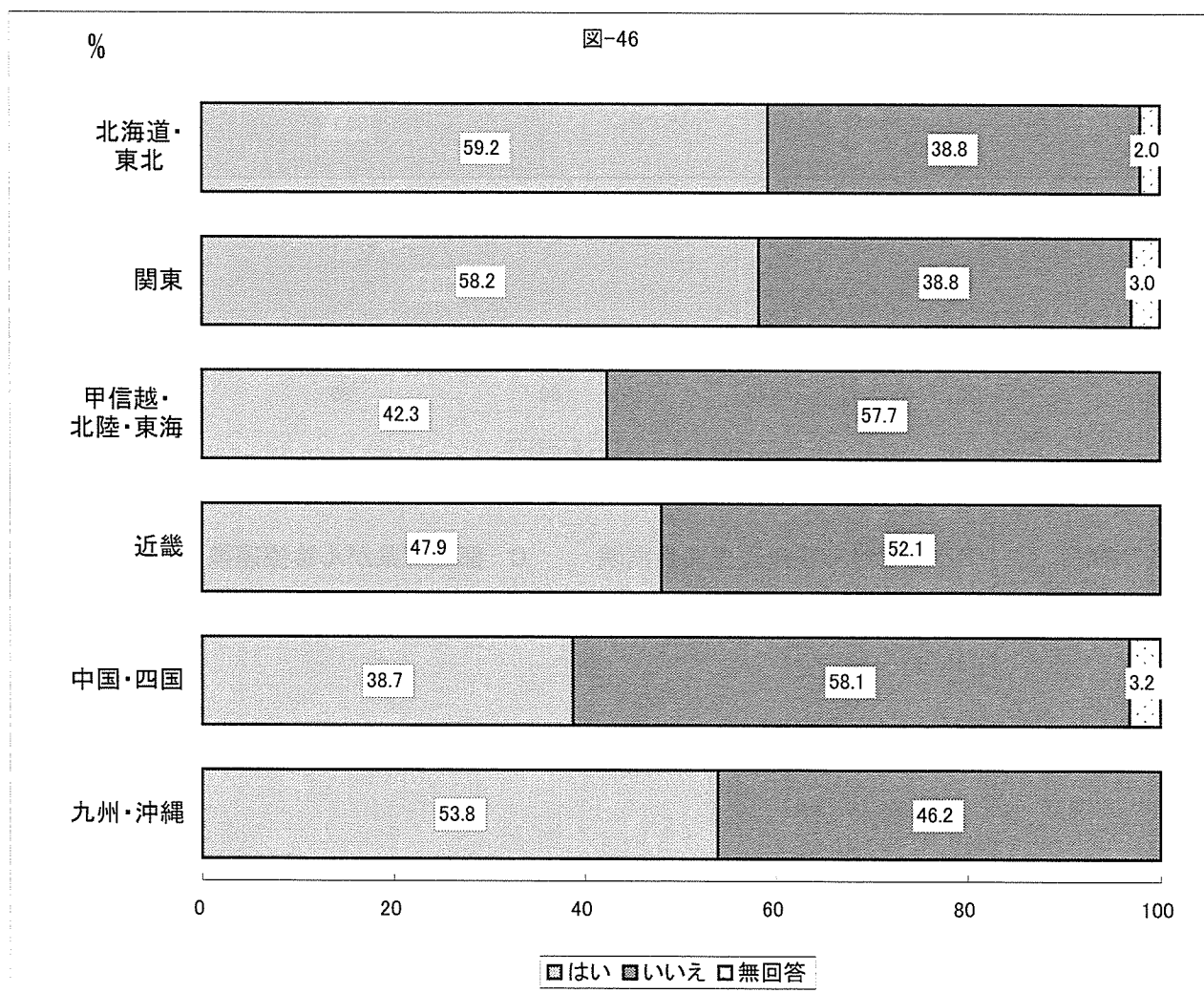
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

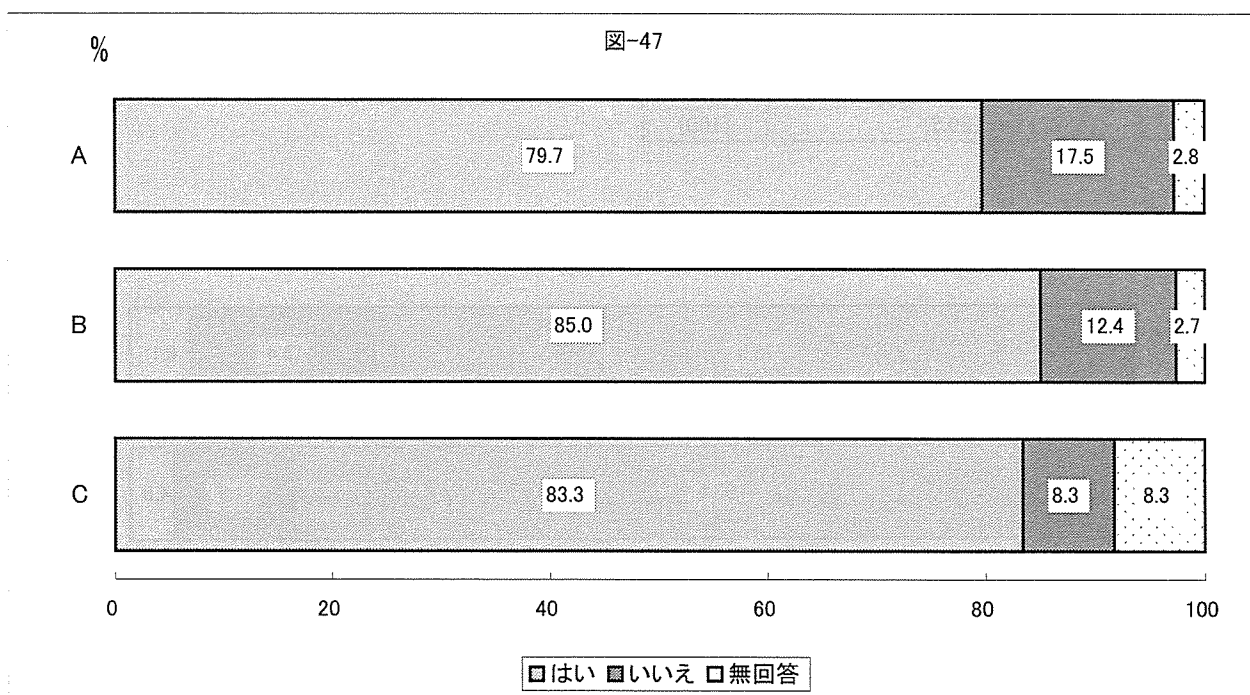
46. 化学療法の専門知識を持つ看護師が専属で配置されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	29	19	1	49
	%	(59.2)	(38.8)	(2.0)	(100)
関東	N	39	26	2	67
	%	(58.2)	(38.8)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	33	45		78
	%	(42.3)	(57.7)		(100)
近畿	N	35	38		73
	%	(47.9)	(52.1)		(100)
中国・四国	N	12	18	1	31
	%	(38.7)	(58.1)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	21	18		39
	%	(53.8)	(46.2)		(100)



47. 外来抗がん剤治療の標準的な業務手順に関するマニュアルが整備されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	169	37	6	212
	%	(79.7)	(17.5)	(2.8)	(100)
B	N	96	14	3	113
	%	(85.0)	(12.4)	(2.7)	(100)
C	N	10	1	1	12
	%	(83.3)	(8.3)	(8.3)	(100)



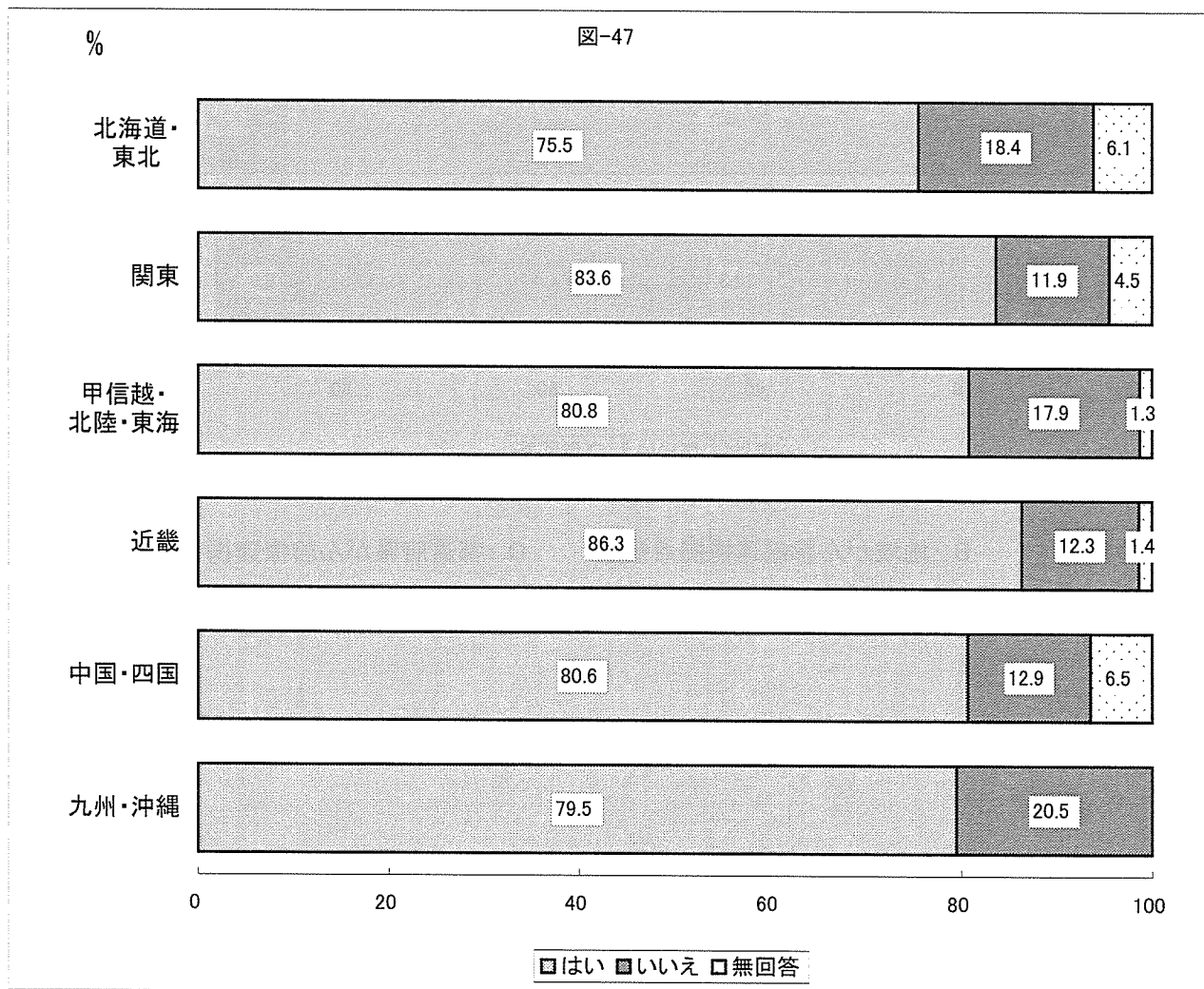
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

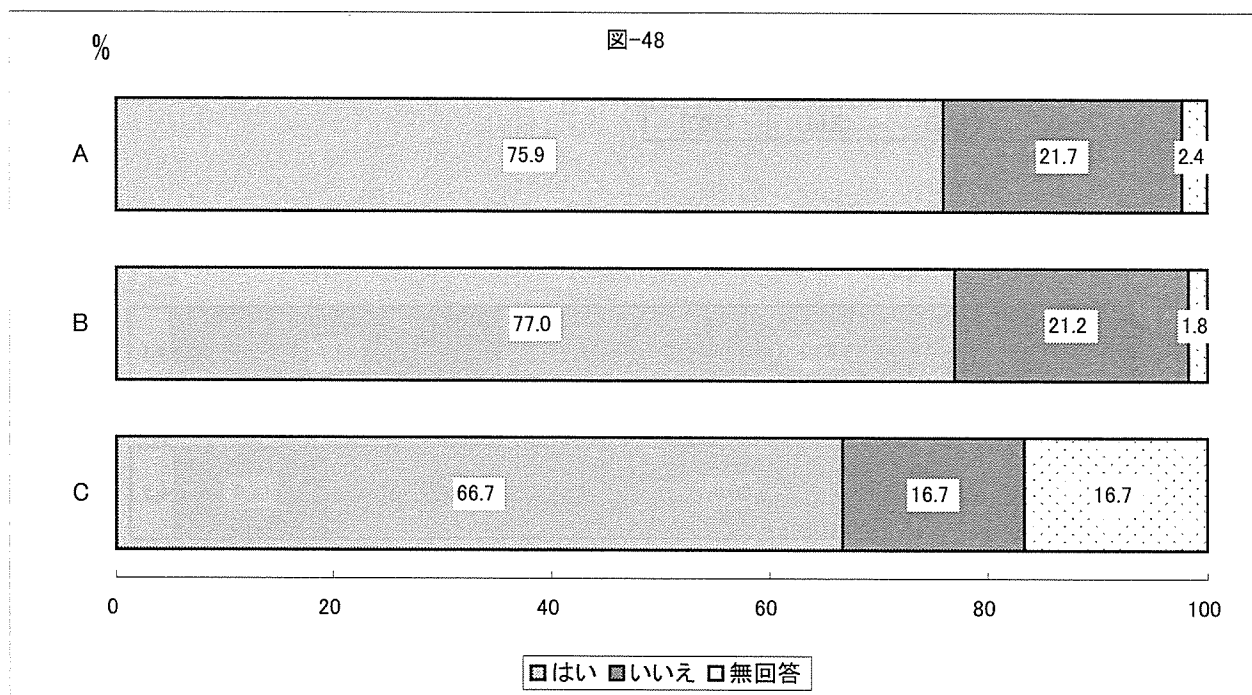
47. 外来抗がん剤治療の標準的な業務手順に関するマニュアルが整備されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	37	9	3	49
	%	(75.5)	(18.4)	(6.1)	(100)
関東	N	56	8	3	67
	%	(83.6)	(11.9)	(4.5)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	63	14	1	78
	%	(80.8)	(17.9)	(1.3)	(100)
近畿	N	63	9	1	73
	%	(86.3)	(12.3)	(1.4)	(100)
中国・四国	N	25	4	2	31
	%	(80.6)	(12.9)	(6.5)	(100)
九州・沖縄	N	31	8		39
	%	(79.5)	(20.5)		(100)



48. 使用するレジユメ(あるいはプロトコル)を前投薬も含めてセット化し、事前登録している

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	161	46	5	212
	%	(75.9)	(21.7)	(2.4)	(100)
B	N	87	24	2	113
	%	(77.0)	(21.2)	(1.8)	(100)
C	N	8	2	2	12
	%	(66.7)	(16.7)	(16.7)	(100)



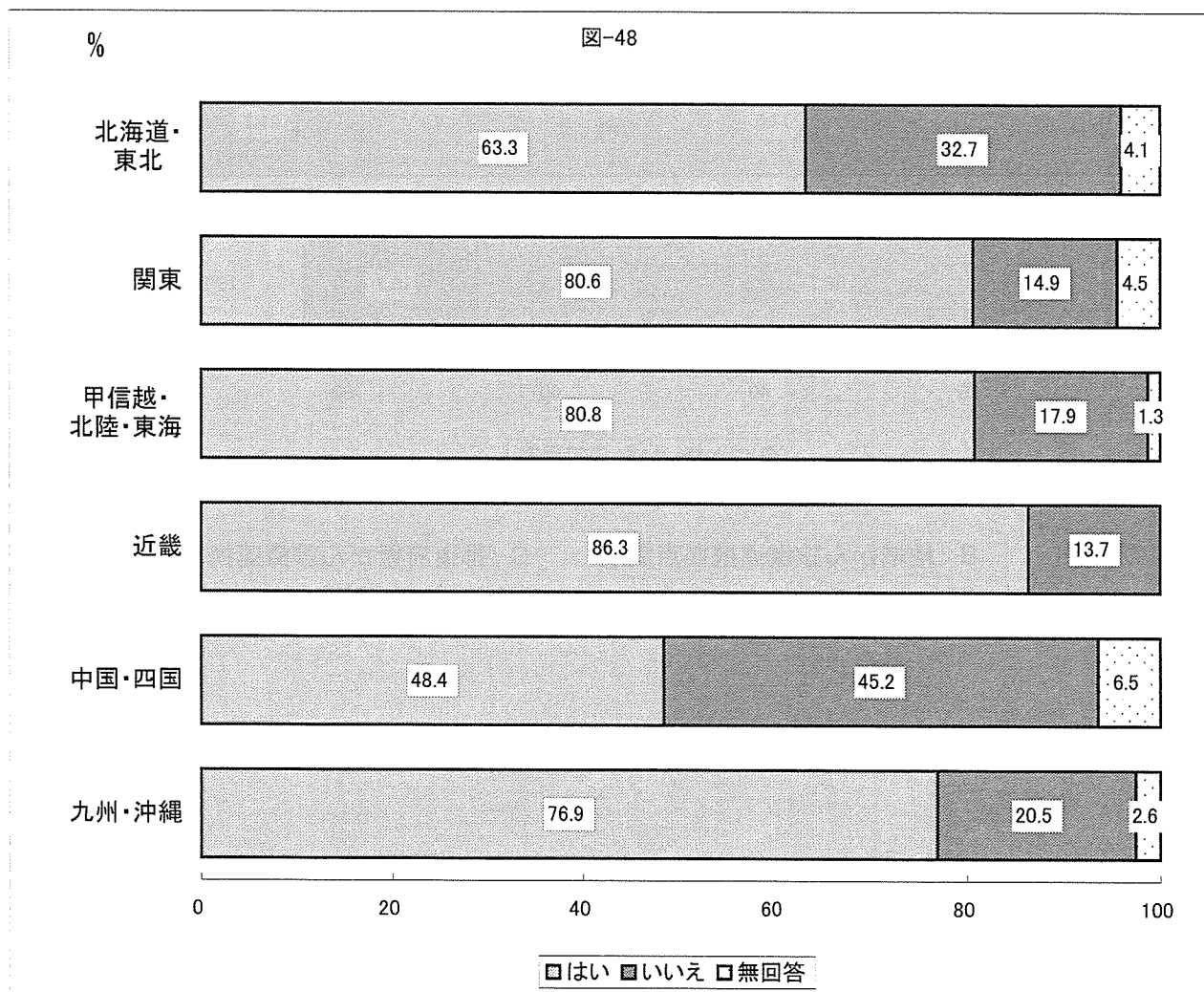
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

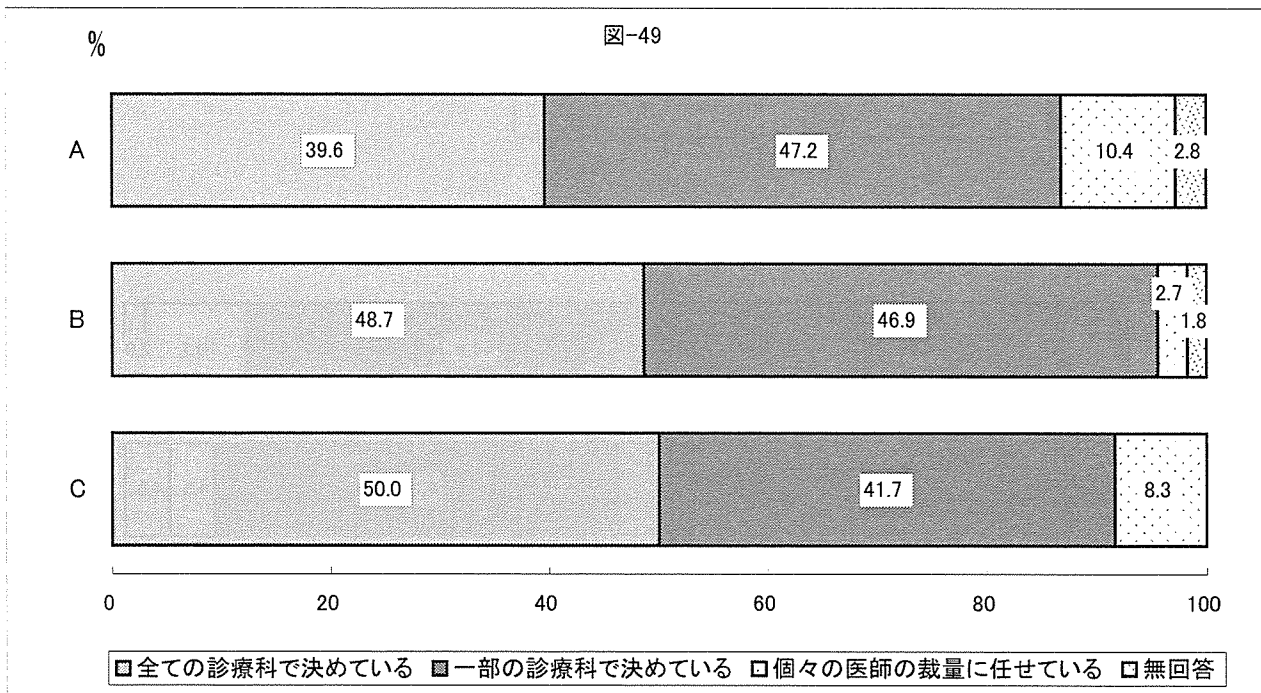
48. 使用するレジユメ(あるいはプロトコル)を前投薬も含めてセット化し、事前登録している

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	31	16	2	49
	%	(63.3)	(32.7)	(4.1)	(100)
関東	N	54	10	3	67
	%	(80.6)	(14.9)	(4.5)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	63	14	1	78
	%	(80.8)	(17.9)	(1.3)	(100)
近畿	N	63	10		73
	%	(86.3)	(13.7)		(100)
中国・四国	N	15	14	2	31
	%	(48.4)	(45.2)	(6.5)	(100)
九州・沖縄	N	30	8	1	39
	%	(76.9)	(20.5)	(2.6)	(100)



49. (外来)化学療法が整備されたプロトコルに則って行われている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
		A	N	84		
	%	(39.6)	(47.2)	(10.4)	(2.8)	(100)
B	N	55	53	3	2	113
	%	(48.7)	(46.9)	(2.7)	(1.8)	(100)
C	N	6	5	1		12
	%	(50.0)	(41.7)	(8.3)		(100)



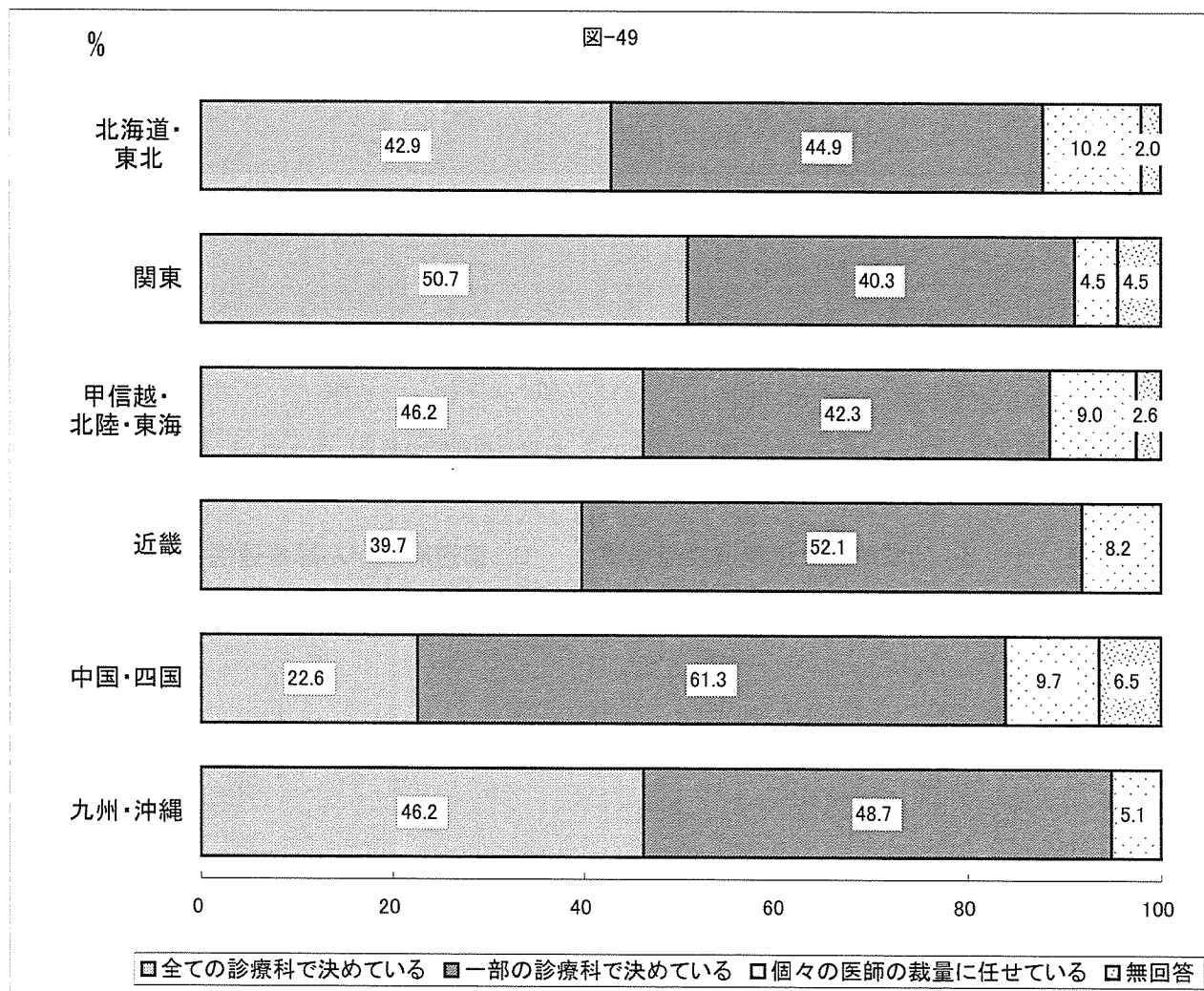
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

49. (外来)化学療法が整備されたプロトコルに則って行われている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
北海道・東北	N	21	22	5	1	49
	%	(42.9)	(44.9)	(10.2)	(2.0)	(100)
関東	N	34	27	3	3	67
	%	(50.7)	(40.3)	(4.5)	(4.5)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	36	33	7	2	78
	%	(46.2)	(42.3)	(9.0)	(2.6)	(100)
近畿	N	29	38	6		73
	%	(39.7)	(52.1)	(8.2)		(100)
中国・四国	N	7	19	3	2	31
	%	(22.6)	(61.3)	(9.7)	(6.5)	(100)
九州・沖縄	N	18	19	2		39
	%	(46.2)	(48.7)	(5.1)		(100)

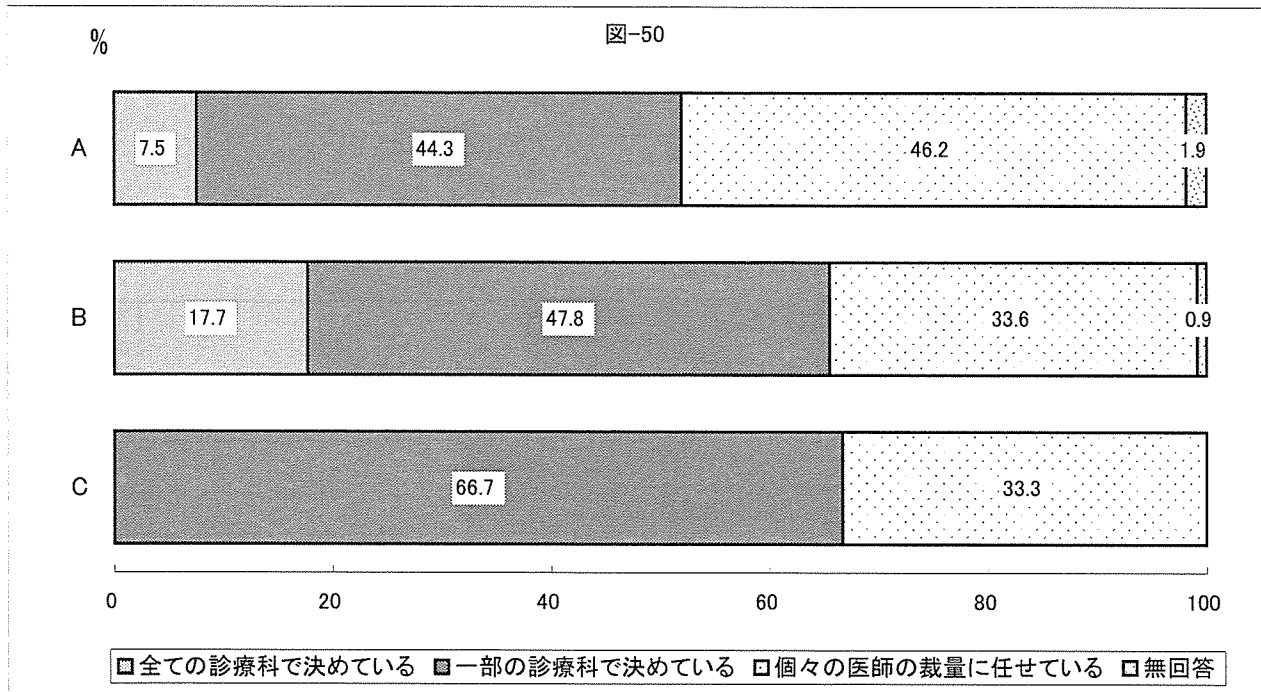




## 5.4 入院抗がん剤治療

50. 化学療法を外来治療で行うか、入院治療で行うかの院内指針が決められている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
A	N	16	94	98	4	212
	%	(7.5)	(44.3)	(46.2)	(1.9)	(100)
B	N	20	54	38	1	113
	%	(17.7)	(47.8)	(33.6)	(0.9)	(100)
C	N		8	4		12
	%		(66.7)	(33.3)		(100)



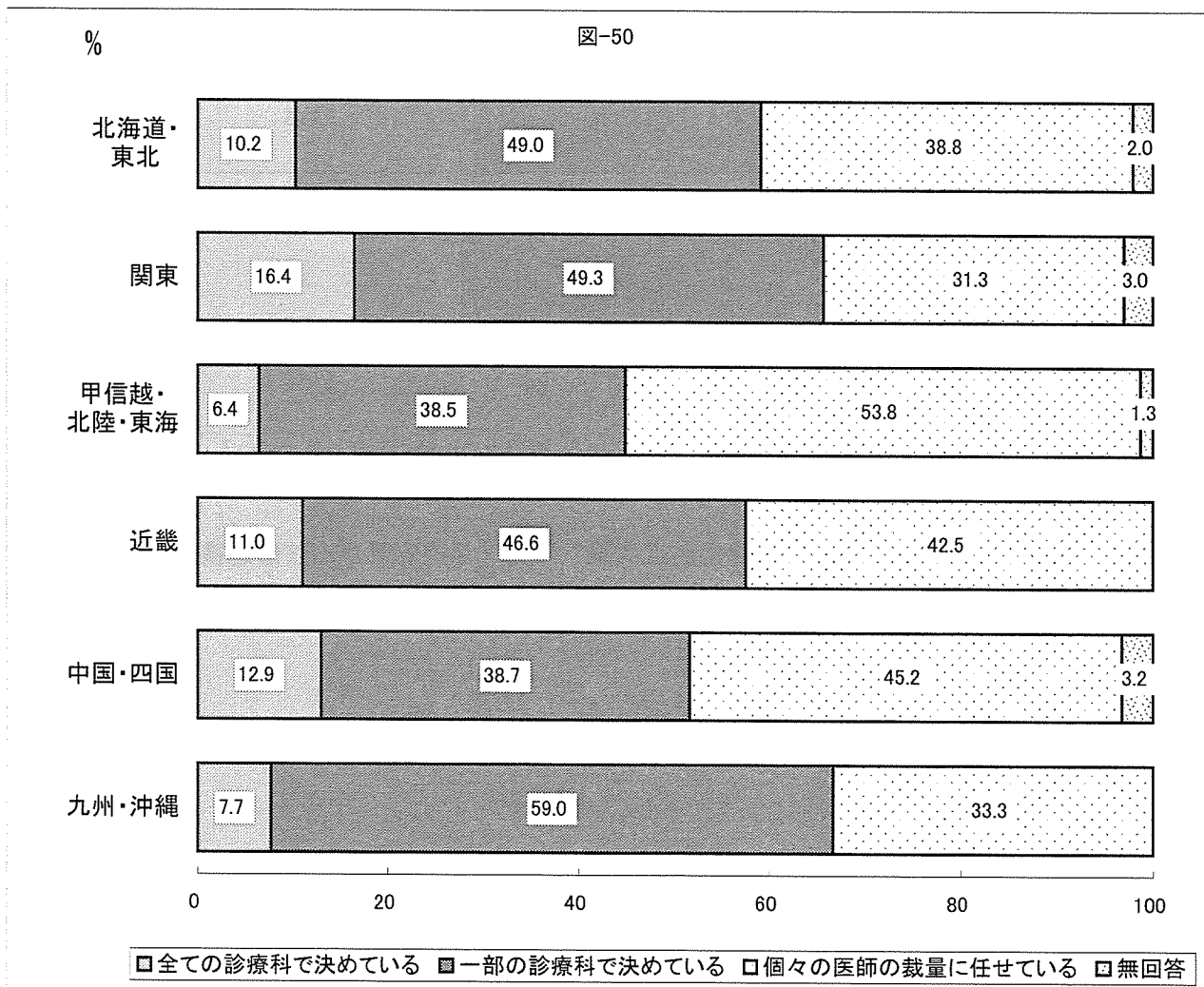
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

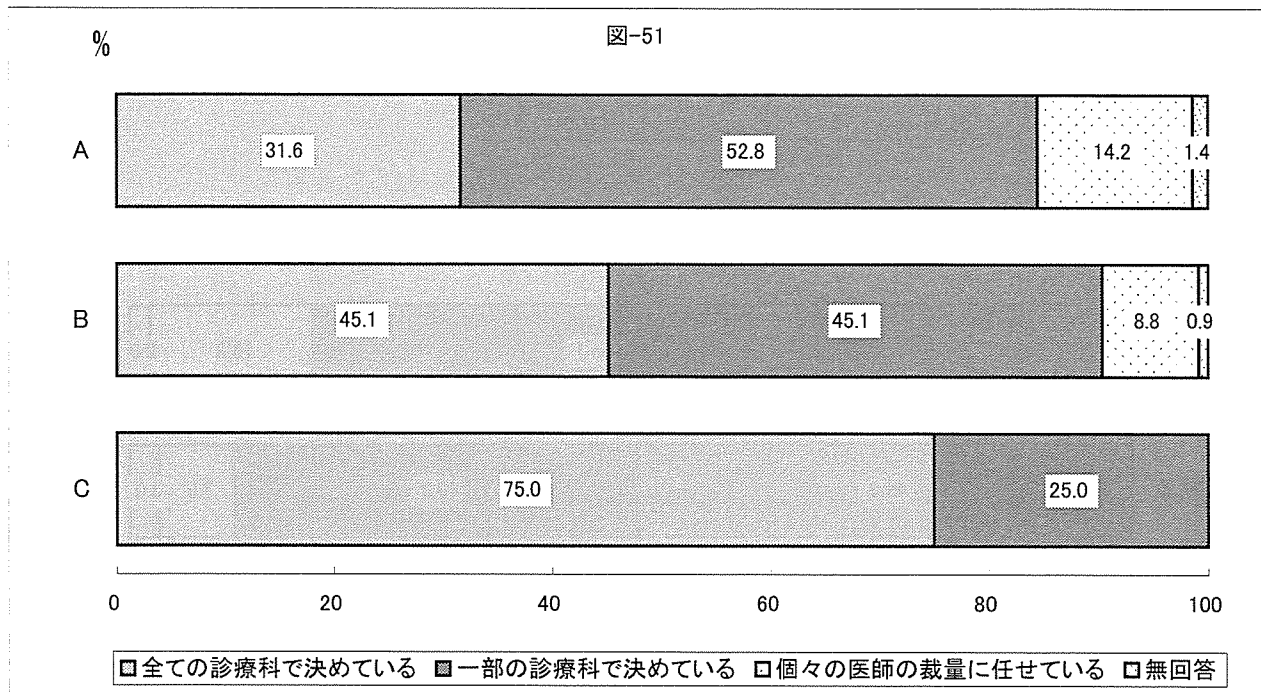
50. 化学療法を外来治療で行うか、入院治療で行うかの院内指針が決められている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
北海道・東北	N	5	24	19	1	49
	%	(10.2)	(49.0)	(38.8)	(2.0)	(100)
関東	N	11	33	21	2	67
	%	(16.4)	(49.3)	(31.3)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	5	30	42	1	78
	%	(6.4)	(38.5)	(53.8)	(1.3)	(100)
近畿	N	8	34	31		73
	%	(11.0)	(46.6)	(42.5)		(100)
中国・四国	N	4	12	14	1	31
	%	(12.9)	(38.7)	(45.2)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	3	23	13		39
	%	(7.7)	(59.0)	(33.3)		(100)



51. (入院)化学療法が整備されたプロトコルに則って行われている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
		A	N	67		
	%	(31.6)	(52.8)	(14.2)	(1.4)	(100)
B	N	51	51	10	1	113
	%	(45.1)	(45.1)	(8.8)	(0.9)	(100)
C	N	9	3			12
	%	(75.0)	(25.0)			(100)



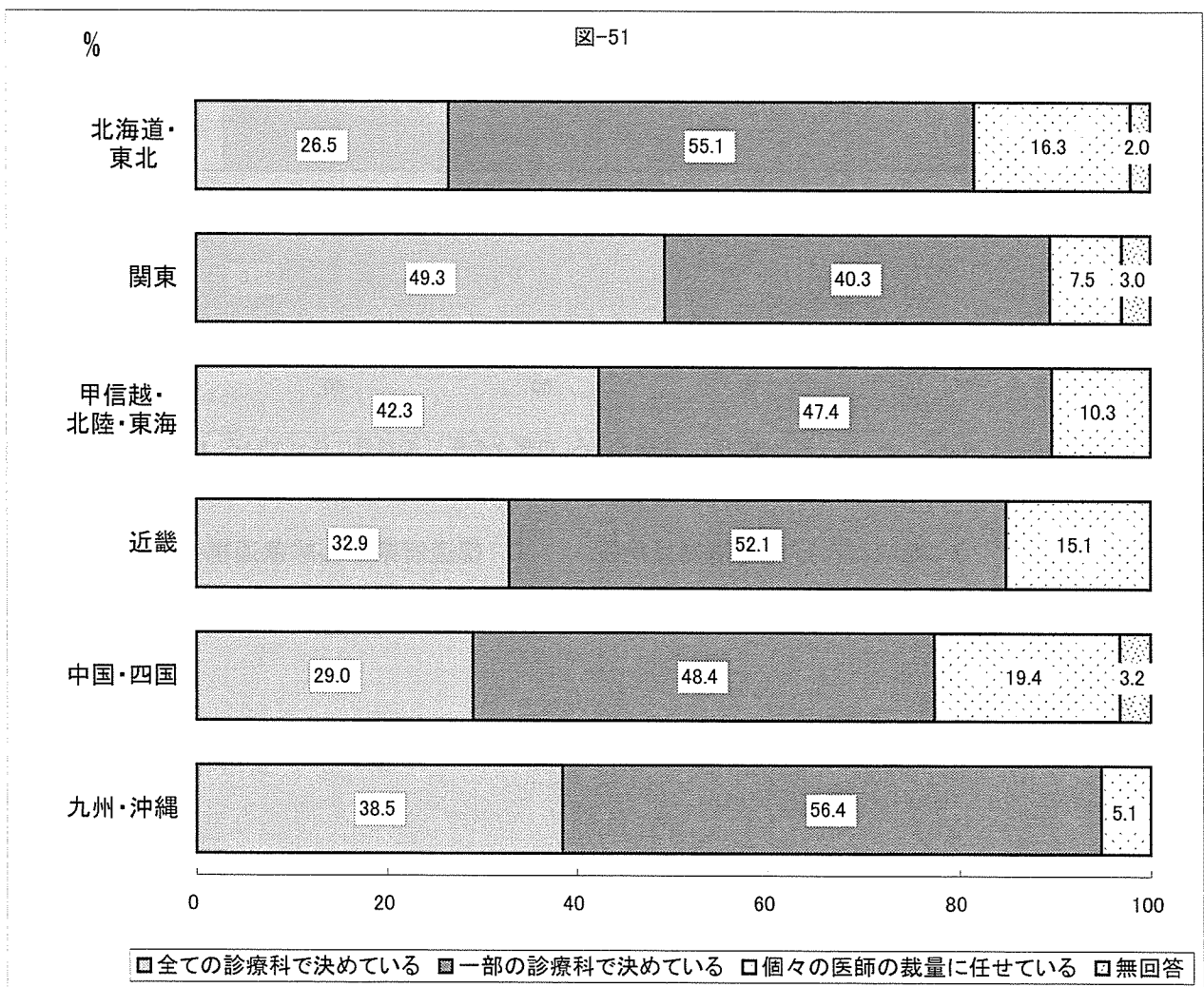
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

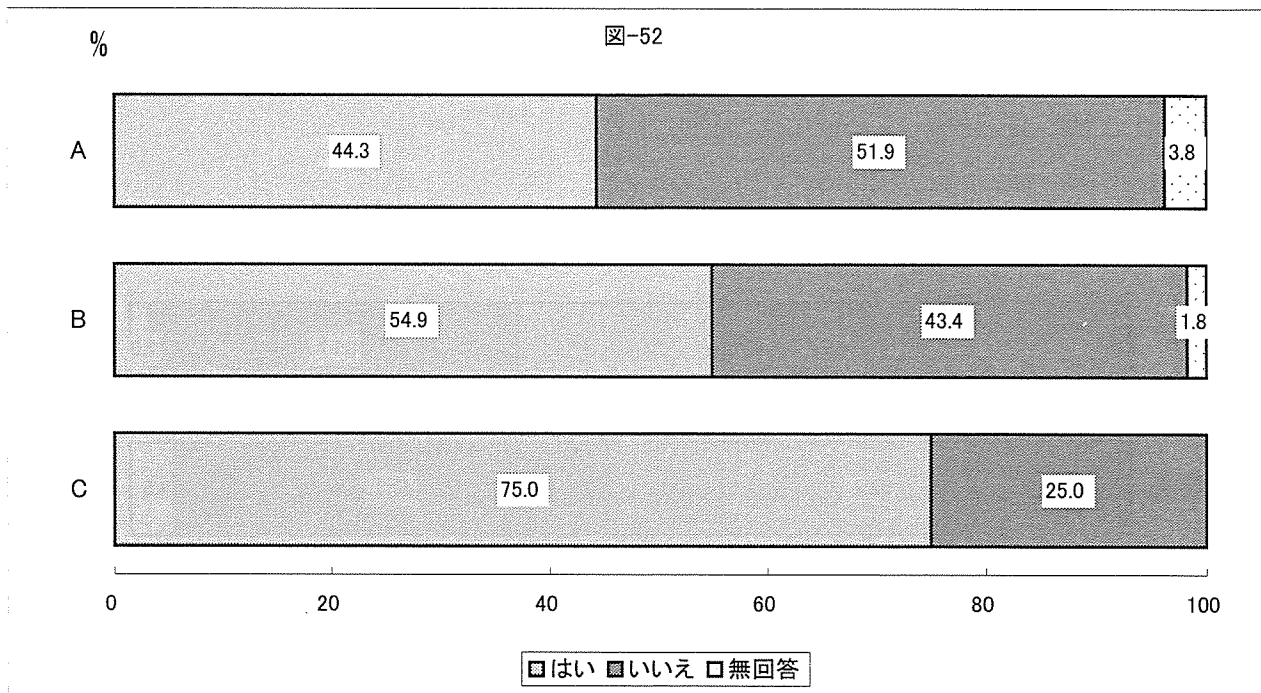
51. (入院)化学療法が整備されたプロトコルに則って行われている

回答		全ての診療科で決めている	一部の診療科で決めている	個々の医師の裁量に任せている	無回答	合計
北海道・東北	N	13	27	8	1	49
	%	(26.5)	(55.1)	(16.3)	(2.0)	(100)
関東	N	33	27	5	2	67
	%	(49.3)	(40.3)	(7.5)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	33	37	8		78
	%	(42.3)	(47.4)	(10.3)		(100)
近畿	N	24	38	11		73
	%	(32.9)	(52.1)	(15.1)		(100)
中国・四国	N	9	15	6	1	31
	%	(29.0)	(48.4)	(19.4)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	15	22	2		39
	%	(38.5)	(56.4)	(5.1)		(100)



52. 免疫抑制状態にある患者の感染対策マニュアルが整備されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	94	110	8	212
	%	(44.3)	(51.9)	(3.8)	(100)
B	N	62	49	2	113
	%	(54.9)	(43.4)	(1.8)	(100)
C	N	9	3		12
	%	(75.0)	(25.0)		(100)



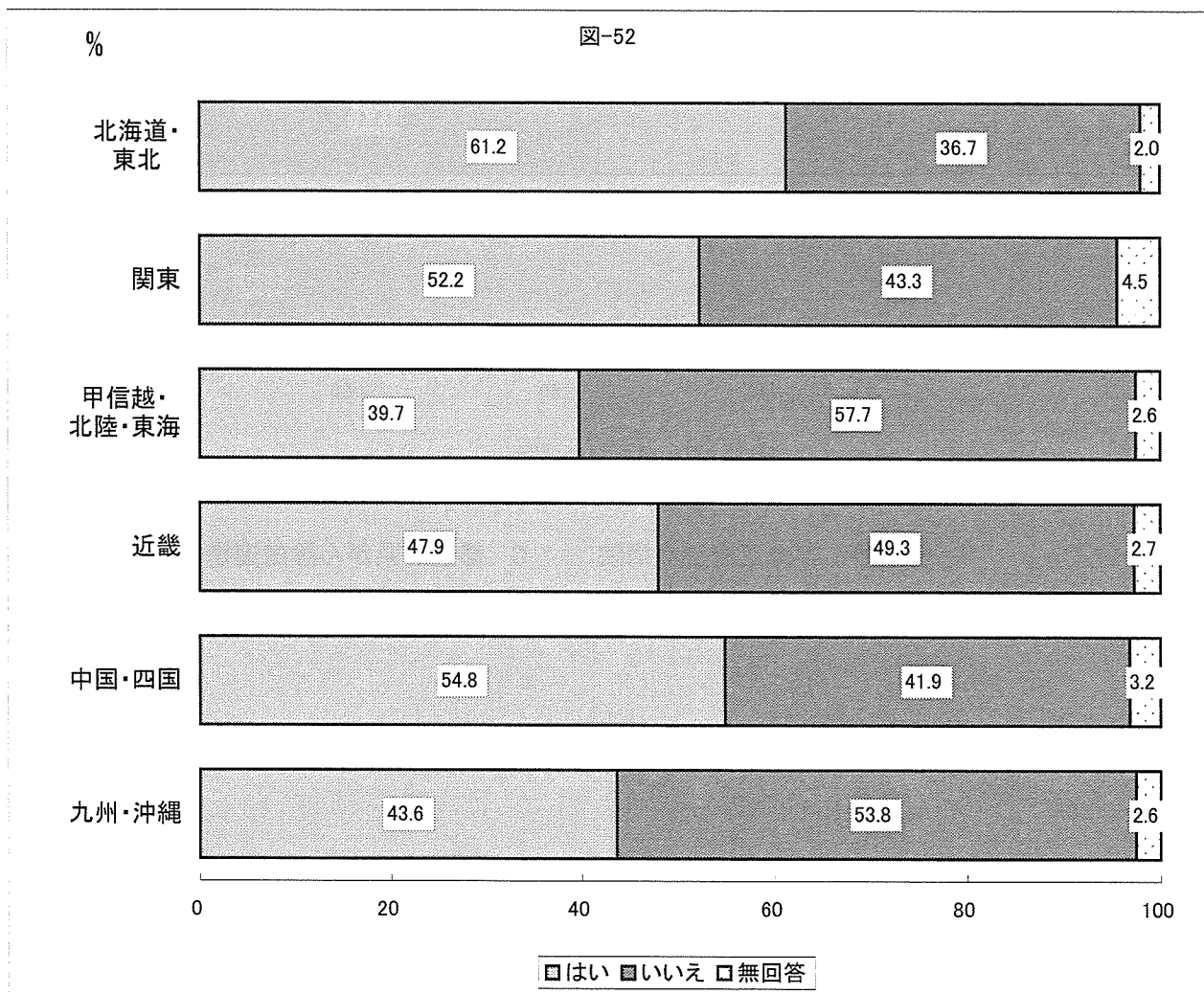
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

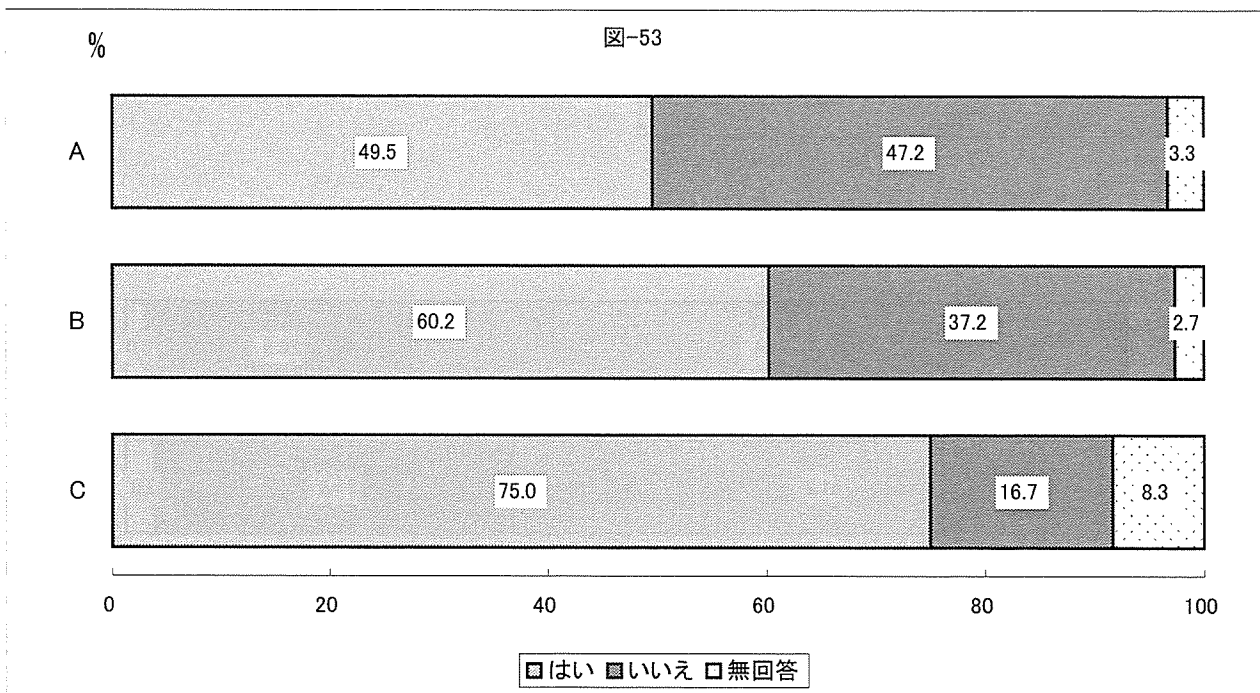
52. 免疫抑制状態にある患者の感染対策マニュアルが整備されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	30	18	1	49
	%	(61.2)	(36.7)	(2.0)	(100)
関東	N	35	29	3	67
	%	(52.2)	(43.3)	(4.5)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	31	45	2	78
	%	(39.7)	(57.7)	(2.6)	(100)
近畿	N	35	36	2	73
	%	(47.9)	(49.3)	(2.7)	(100)
中国・四国	N	17	13	1	31
	%	(54.8)	(41.9)	(3.2)	(100)
九州・沖縄	N	17	21	1	39
	%	(43.6)	(53.8)	(2.6)	(100)



53. 抗がん剤の安全な扱い方と廃棄の方法が明文化されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
A	N	105	100	7	212
	%	(49.5)	(47.2)	(3.3)	(100)
B	N	68	42	3	113
	%	(60.2)	(37.2)	(2.7)	(100)
C	N	9	2	1	12
	%	(75.0)	(16.7)	(8.3)	(100)



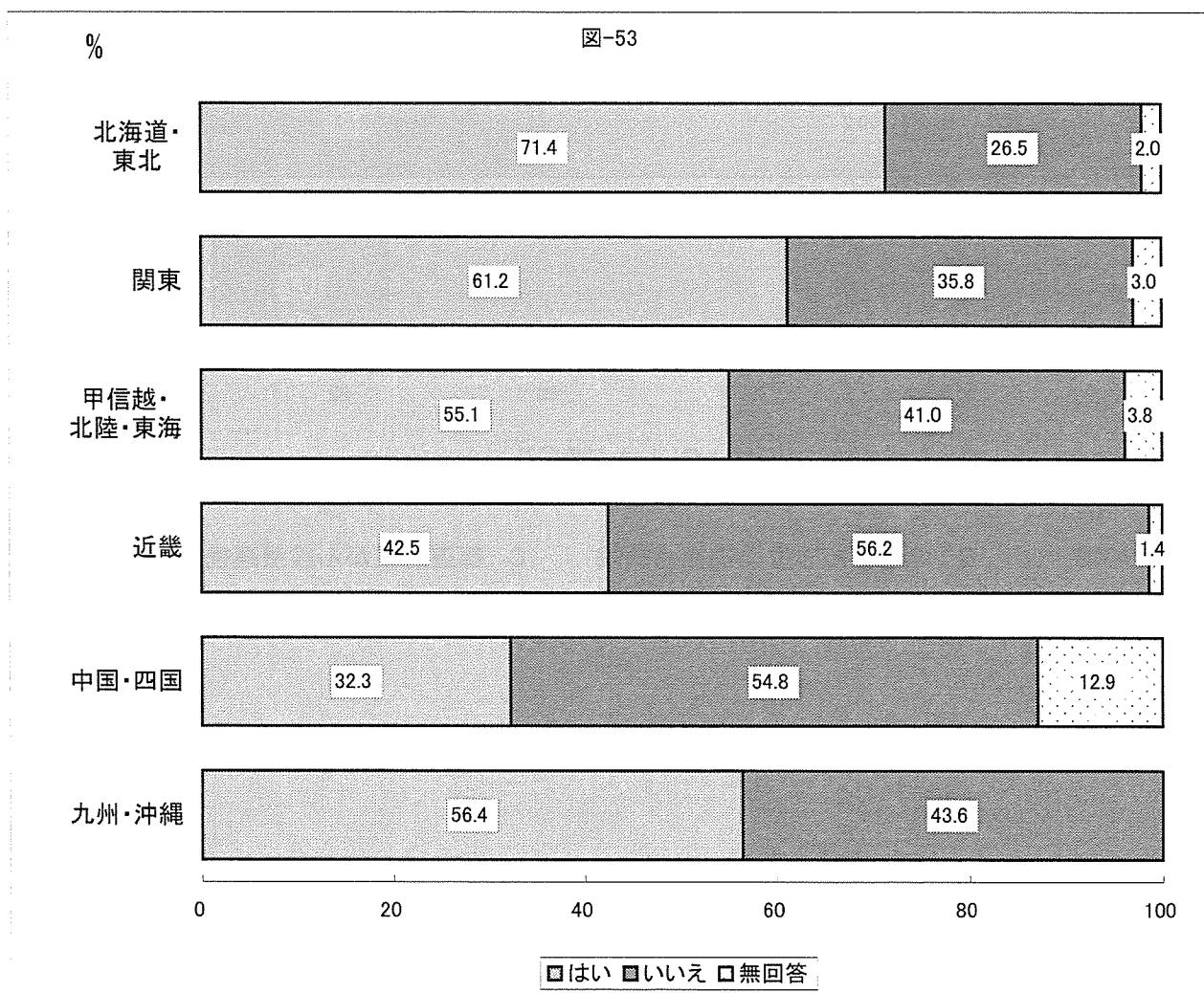
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

53. 抗がん剤の安全な扱い方と廃棄の方法が明文化されている

回答		はい	いいえ	無回答	合計
北海道・東北	N	35	13	1	49
	%	(71.4)	(26.5)	(2.0)	(100)
関東	N	41	24	2	67
	%	(61.2)	(35.8)	(3.0)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	43	32	3	78
	%	(55.1)	(41.0)	(3.8)	(100)
近畿	N	31	41	1	73
	%	(42.5)	(56.2)	(1.4)	(100)
中国・四国	N	10	17	4	31
	%	(32.3)	(54.8)	(12.9)	(100)
九州・沖縄	N	22	17		39
	%	(56.4)	(43.6)		(100)

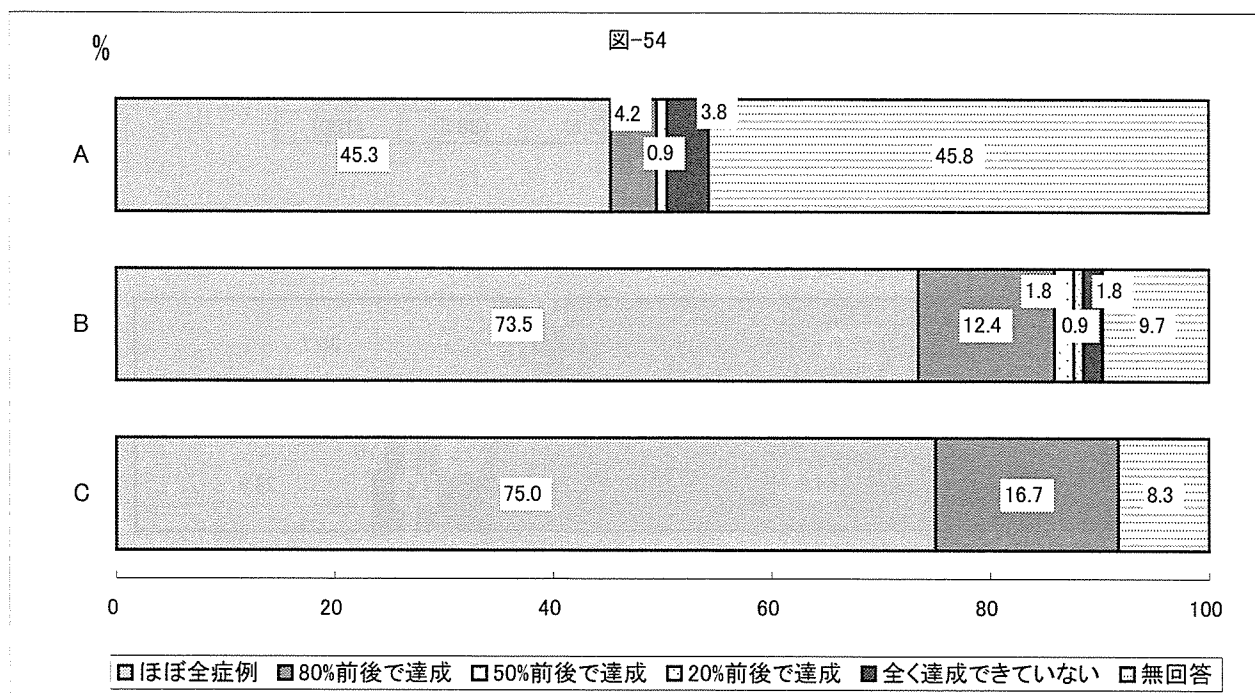




## 5.5 放射線治療

54. 放射線治療において、照射量などにエラーがあった場合、インシデントレポートなどで報告し、再発防止のための検討をしている

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
		A	N 96 (45.3)	9 (4.2)	2 (0.9)		8 (3.8)	97 (45.8)
B	N 83 (73.5)	14 (12.4)	2 (1.8)	1 (0.9)	2 (1.8)	11 (9.7)	113 (100)	
C	N 9 (75.0)	2 (16.7)				1 (8.3)	12 (100)	



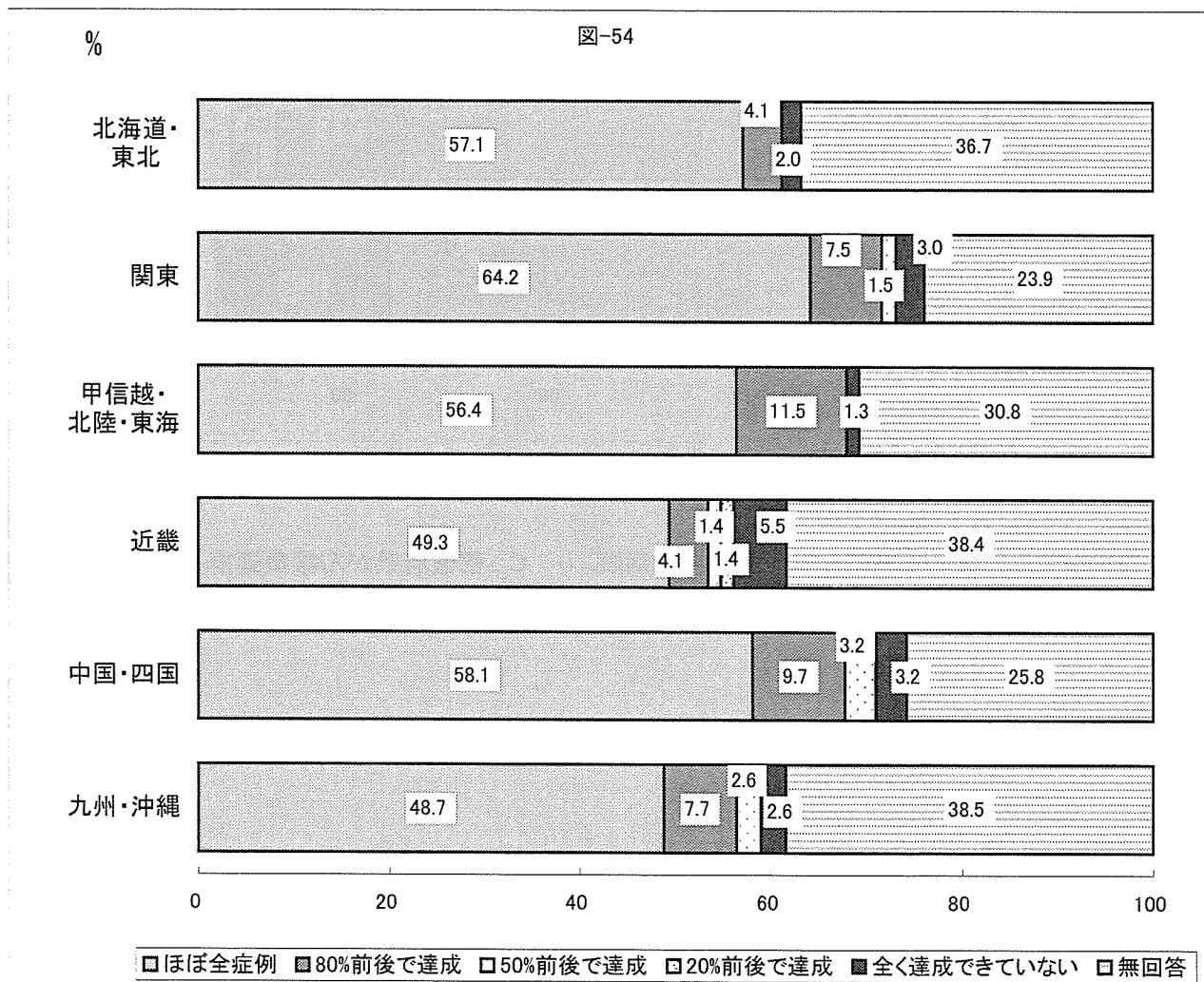
A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

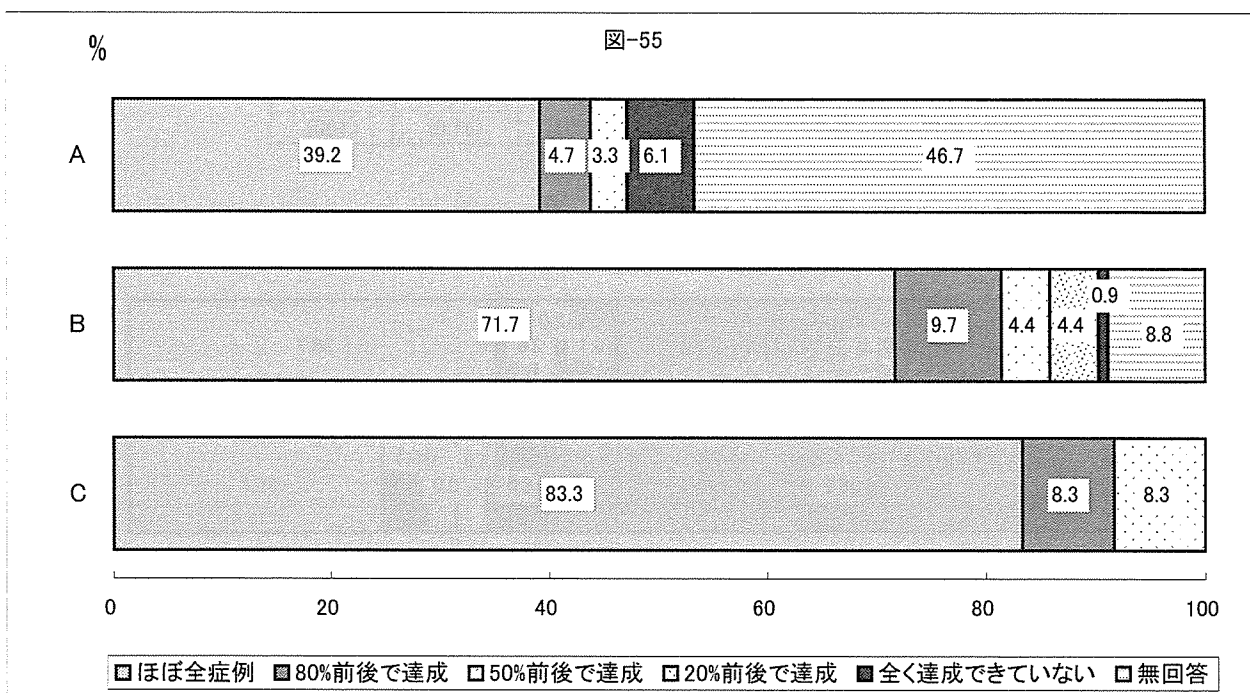
54. 放射線治療において、照射量などにエラーがあった場合、インシデントレポートなどで報告し、再発防止のための検討をしている

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
北海道・東北	N	28	2			1	18	49
	%	(57.1)	(4.1)			(2.0)	(36.7)	(100)
関東	N	43	5	1		2	16	67
	%	(64.2)	(7.5)	(1.5)		(3.0)	(23.9)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	44	9			1	24	78
	%	(56.4)	(11.5)			(1.3)	(30.8)	(100)
近畿	N	36	3	1	1	4	28	73
	%	(49.3)	(4.1)	(1.4)	(1.4)	(5.5)	(38.4)	(100)
中国・四国	N	18	3	1		1	8	31
	%	(58.1)	(9.7)	(3.2)		(3.2)	(25.8)	(100)
九州・沖縄	N	19	3	1		1	15	39
	%	(48.7)	(7.7)	(2.6)		(2.6)	(38.5)	(100)



55. 放射線治療に関する装置やソフトウェアの導入時に、放射線科の医師を対象とする研修・講習会を開催している

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
A	N	83	10	7		13	99	212
	%	(39.2)	(4.7)	(3.3)		(6.1)	(46.7)	(100)
B	N	81	11	5	5	1	10	113
	%	(71.7)	(9.7)	(4.4)	(4.4)	(0.9)	(8.8)	(100)
C	N	10	1	1				12
	%	(83.3)	(8.3)	(8.3)				(100)



A : その他の病院

B : 地域がん診療連携拠点病院

C : 都道府県がん診療連携拠点病院

55. 放射線治療に関する装置やソフトウェアの導入時に、放射線科の医師を対象とする研修・講習会を開催している

回答		ほぼ全症例	80%前後で達成	50%前後で達成	20%前後で達成	全く達成できていない	無回答	合計
北海道・東北	N	25	3	1	1	1	18	49
	%	(51.0)	(6.1)	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(36.7)	(100)
関東	N	39	4	2	2	3	17	67
	%	(58.2)	(6.0)	(3.0)	(3.0)	(4.5)	(25.4)	(100)
甲信越・北陸・東海	N	41	7	4		2	24	78
	%	(52.6)	(9.0)	(5.1)		(2.6)	(30.8)	(100)
近畿	N	34	3	1	2	5	28	73
	%	(46.6)	(4.1)	(1.4)	(2.7)	(6.8)	(38.4)	(100)
中国・四国	N	16	4	3		2	6	31
	%	(51.6)	(12.9)	(9.7)		(6.5)	(19.4)	(100)
九州・沖縄	N	19	1	2		1	16	39
	%	(48.7)	(2.6)	(5.1)		(2.6)	(41.0)	(100)

